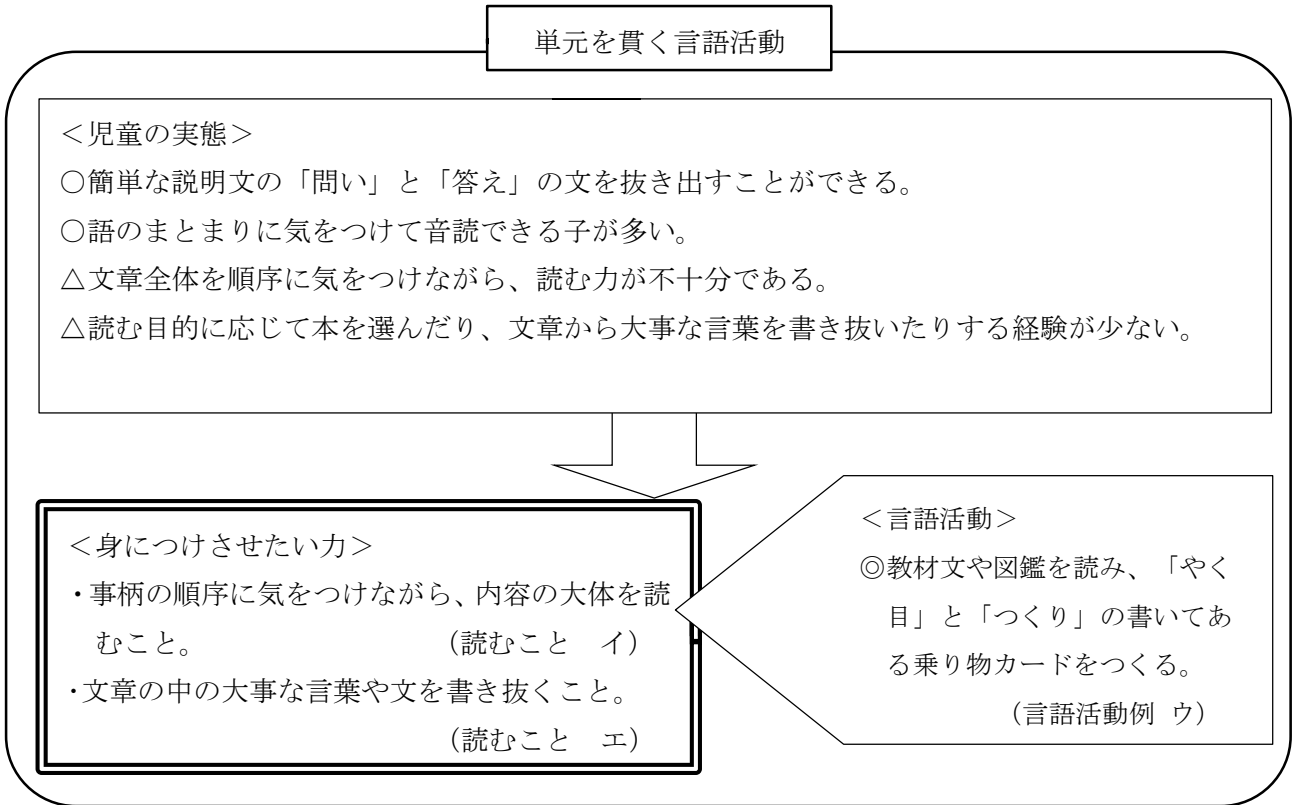


第1学年 国語科学習指導案

日時 平成26年11月7日(金) 13:20~14:05
 児童 7名
 授業者 菊池 和恵

1. 単元名 「やく目」と「つくり」がわかるのりものカードをつくろう
 中心教材 「いろいろなふね」(東京書籍 1年下)
2. 身につけさせたい力と単元を貫く言語活動の構想



3. 単元について

(1) 言語活動の特徴

本単元を貫く言語活動として、「C読むこと」の言語活動例「ウ 事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むこと」を具体化し、教材文や図鑑を読み「やく目」と「つくり」を紹介する乗り物カードをつくることを位置付けた。


この言語活動は、教材文や図鑑を読み、その中から「やく目」と「つくり」を書いている部分を書き抜いてカードをつくっていく活動となる。カードをつくる学習を繰り返すことにより、本単元のねらいである文章の中の大事な言葉や文を書き抜くことができるようにしている。

つくり

乗り物の名前

やく目

ざい木うんぱん車



つくり

この車には、ざい木がころがりおちないように、さやこえがついています。

ざい木

ざい木をはこぶための車です。

やく目

山りんからきりだしたざい木をはこぶための車です。

できること

(2) 指導にあたって

本単元は、教材文で4種類の船についてどんなことがどのように書かれているかを読み取り、そこで学んだことを生かし、他の乗り物について図鑑で調べて大事な文や言葉を書き抜いたり整理したりする力をつけることをねらいとする。

この教材文は、特徴的な機能を持った4種類の船を例として取り上げ、役目や構造、装備などを紹介している。それぞれの例示が同じ文章構成、同じ文型で説明されており、叙述に即して内容を正確にとらえるのに適している。また、児童が好きな乗り物について説明の文章を書く際にも、この文型を生かすことができる。

第一次の導入では、乗り物への興味関心を高めるために、みんなの知っている乗り物を出させる。その後、教師が作成した「乗り物図鑑」の一部となる乗り物カードを提示し、続きのカードをみんなで作って図鑑にし、2年生に観てもらふことを伝える。そのためにどのように学習を進めていくかという学習計画を立てる。また、乗り物に関する図鑑を集めた図書コーナーを作成し、並行読書のしかたも指導する。

第二次では、教材文「いろいろなふね」を読む。読む時に段落ごとに「やく目」と「つくり」「できること」を探しながら読み、読んだことを乗り物カードに記入していく。乗り物カードにまとめていく活動を繰り返していくうちに大事な文や言葉を書き抜く力を身に付けさせたい。また、単位時間の最後の方に並行読書している乗り物図鑑を読む活動を取り入れ、「やく目」「つくり」「できること」を色別の付箋に書き抜くという活動を行い、第三次の活動につなげていきたい。

第三次では、並行読書で書き抜いてきた「やく目」「つくり」「できること」を教材の文型を活用しながら、自分で乗り物カードを作成する。今まで自分が書いてきた乗り物カードを一冊の図鑑にして、2年生に観てもらふという相手意識を持って意欲的に学習を進めていきたい。

4. 単元の目標と評価規準

- 乗り物に興味を持ち、進んで本や資料を読み、「乗り物カード」をつくらうとする。
[関心・意欲・態度]
- ◎ 説明の順序に気を付け、「やく目」と「つくり」「できること」の関係を考えながら内容の大体を読むことができる。
[読むことイ]
- ◎ 教材文や図鑑の文章から「やく目」と「つくり」「できること」を表している大事な文や言葉を書き抜くことができる。
[読むことエ]
- 文章の中の主語と述語の関係に注意して、文章を読むことができる。
[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ（カ）]

(評価規準)

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○乗り物に興味を持って説明文を読んだり、好きな乗り物について調べたりしながら乗り物カードをつくらうとしている。	◎「やく目→つくり→できること」という順序に気をつけて内容を正しく読み取っている。(イ) ◎「やく目」や「つくり」を表している大事な文や言葉を書き抜いている。(エ)	○文章の中の主語と述語の关系到注意して、文章を読むことができる。(イ (カ))

5. 単元の指導計画（10時間）

次	時	主な学習活動	言語活動に関する留意点	評価規準（評価方法）
第一次	1	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな乗り物の絵を見ながら興味を高める。 ・自分達も乗り物カードをつくるという見通しから、学習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り物について知っていることを交流する。 ・乗り物カードに書いてあることが「名前」「やく目」「つくり」「できること」であることを確認する。 ・単元のゴールを確認し、児童と一緒に学習計画を立てる。 	<p>〔関〕</p> <p>乗り物の絵や乗り物カードに興味をもち、説明的文章を読もうとしている。</p> <p>（発言、観察）</p>
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・文章全体のおおまかな構成をとらえる。 ・並行読書する図鑑を選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章全体を読み、「話題提示」「きやくせん」「フェリーボート」「ぎよせん」「しょうぼうてい」「まとめ」が書いてあることを確認する。 ・教室にある図鑑の中から自分がカードを作りたい乗り物を選んで読んでみる。 	
第二次	3	<ul style="list-style-type: none"> ・「きやくせん」の「やく目」と「つくり」「できること」を読み取り、カードにまとめる。 ・並行読書する図鑑を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「きやくせん」の「やく目」と「つくり」「できること」を読み取り、この三つが関係していることに気付かせる。 ・乗り物カードを作るための文型を見つける。（～ためのふねです。～があります。） ・できた乗り物カードを隣の人と確認する。 ・自分が選んだ図鑑にある乗り物の「やく目」と「つくり」「できること」がどこに書いているのかを探しながら、読む。 	<p>〔読〕</p> <p>「やく目→つくり→できること」という順序に気をつけて内容を正しく読み取っている。</p> <p>「やく目」や「つくり」を表している大事な文や言葉を書き抜いている。</p> <p>（発言、ワークシートの記述）</p> <p>〔言〕</p>
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・「フェリーボート」の「やく目」と「つくり」「できること」を読み取り、カードにまとめる。 ・並行読書の中から1つを補助教材として選び「やく目」と「つくり」と「できること」を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「フェリーボート」の「やく目」と「つくり」「できること」を読み取り、この三つが関係していることに気付かせる。 ・乗り物カードを作ってみる。 ・できた乗り物カードをペアで確認する。 ・補助教材の「やく目」と「つくり」「できること」を表す言葉を全員で見つける。 	<p>文章の中の主語と述語の関係に注意して、文章を読むことができる。</p> <p>（発言、ワークシートの記述）</p>

	5 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぎよせん」の「やく目」と「「つくり」「できること」を読み取り、カードにまとめる。 ・自分が選んだ乗り物の「やく目」を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぎよせん」の「やく目」と「つくり」「できること」を読み取り、この三つが関係していることに気付かせる。 ・乗り物カードを作ってみる。 ・できた乗り物カードをペアで確認する。 ・自分が選んだ乗り物の「やく目」を表す言葉を見つけて付箋に書き抜く。 	
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・「しょうぼうてい」の「やく目」と「「つくり」「できること」を読み取り、カードにまとめる。 ・自分が選んだ乗り物の「つくり」と「できること」を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「しょうぼうてい」の「やく目」と「くふう」を読み取り、この二つが関係していることに気付かせる。 ・乗り物カードを作ってみる。 ・できた乗り物カードをペアで確認する。 ・自分が選んだ乗り物の「つくり」と「できること」を表す言葉を見つけて付箋に書き抜く。 	
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・事柄の順序と、説明に使われている基本的な文型を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「話題提示」「きゃくせん」「フェリーボート」「ぎよせん」「しょうぼうてい」「まとめ」の順に書いてあることを確認する。 ・説明に使われている基本的な文型をpushさえさせる。 	
第三 次	8	<ul style="list-style-type: none"> ・補助教材を「やく目」「つくり」「できること」という観点でまとめて乗り物カードを作ることを知る。 ・補助教材の乗り物カードを作ってみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第4時で見つけた補助教材の「やく目」と「つくり」を前時に学習した基本的な文型を使ってカードに書く。 ・できた乗り物カードをペアで確認する。 	<p>〔関〕</p> <p>第二次の学習を活かし、図鑑を読んで自分が選んだ乗り物の乗り物カードをつくろうとしている。</p> <p>(発言、ワークシートの記述)</p> <p>〔言〕</p>
	9	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを活用し、自分が選んだ乗り物カードを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が選んだ乗りものの「やく目」と「つくり」「できること」の付箋を見ながら、乗り物カードをつくる。 ・できた乗り物カードをペアで確認する。 	<p>文章の中の主語と述語の関係に注意して文章を読み、「乗り物カード」にまとめている。</p> <p>(ワークシートの記述)</p>
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・できあがったカードをみんなの前で読み合い、感想を交流する。 ・2年生に持って行くことを確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カードを発表しあい、感想やお互いのよさを交流する。 	

6. 本時の学習（5時間／10時間）

(1) 目標

「ぎょせん」の「やく目」と「つくり」「できること」を読み取り、カードにまとめる。

(2) 展開

段階	学習内容	指導上の留意点 [評価]
導入 5分	1 本時の学習課題を確認する。	・本時の学習課題を確認する。 [手立て 2] (①単元を通して ②本時) ①単元における本時の位置づけを確かめ、学習課題を把握する。 ②ぎょせんの乗り物カードを作るために本文を読み取ることを意識させる。 ぎょせんのやく目とつくりとできることを よみとろう。
展開 35分	2 前時の学習内容を想起し、学習の見通しを立てる。 3 ぎょせんの「やく目」「つくり」「できること」について読み取る。 ・順不同に提示された教材文を読む。 ・「やく目」と「つくり」「できること」見つけて並べ替える。 ・乗り物カードを作る。 4 書いた乗り物カードをペアで確認する。 5 自分が選んだ乗り物の「やく目」を読み取る。	・前時に「フェリーボート」の乗り物カードを作ったことを想起させ、教材文を読み取った後、乗り物カードを作るという学習の見通しをもたせる。 [手立て 2] ・順不同に提示された文から「やく目」「つくり」「できること」を見つけさせ、その「やく目」や「つくり」「できること」を乗り物カードに書かせる。 ・乗り物カードには、 「①なまえ ②やく目 ③くふう ④できること」 を書くことを確認して自力で書き抜かせる。 [読] 役目や工夫を表している大事な文や言葉を書き抜いている。(エ) (ワークシート) ・ペアで3つのことが正しく書かれているかを確認する。 [手立て 3] ・自分が選んだ乗り物の「やく目」を調べて、付箋に書き抜かせる。 ・迷っている児童がいる場合には、図鑑と一緒に読んであげながら、見つけられるように支援する。
終末 5分	6 学習の振り返りをする。 ・振り返りを書く。 ・発表する。	・本時でわかったことを振り返らせる。

7. 板書計画

乗り物カード	挿絵	ぎよせん	いろいろなふね ぎよせんのやく目とつくりとづきまをよみと りましょう。
	・見つけたさかなをあみでとりま す。	やく目	・さかなをとるためのふねです。
	できること	つくり	・さかなのむれを見つけるきかい や、あみをつんでいます。